

【参考】表彰団体活動概要

掲載はブロック順

ブロック	市町村	選考結果	団体名	活動概要（応募資料から抜粋）
札幌	幌加内町	優秀賞	北海道幌加内高等学校	町特産の「そば」を、栽培、加工、販売まで行っている。全学年がそば打ちを極め、上段位の合格者を出す日本唯一の高校である。学校でのアンテナショップや新そばまつりに参加し、地域住民との交流も盛んに行っている。
札幌	由仁町	優秀賞	WEAVE(ウィーブ)	20代、30代の若い農業女性の団体であり、仲間作りとして、交流会を開催。また、農業の勉強として、野菜栽培技術の学習や食品加工技術の習得のほか、地域の活性化のため、地域イベントの「ハロウィンカーニバル」の主催などを行っている。
函館	江差町	優秀賞	えさし水土里の会	地場の米や野菜を用いたお菓子や漬物など地域に根付いた特産品づくりを行い、地域の伝承文化を守るとともに、それらを販売することで次世代へ伝承する活動を行っている。さらに、新たな特産品の開発を行い、地域の新たな魅力作りを進めている。また、町内の観光スポットで地域の野菜を観光客などに販売し、地域の農業を多くの人に知ってもらっている。
小樽	寿都町	優秀賞	寿都地域マリンビジョン協議会	道外の修学旅行生や一般ツアー客を対象に地引き網体験等を組み入れた漁業体験を継続的に実施。平成27年5月には台湾から5日間で延べ約2,400人が漁業体験に訪れた。平成27年には「浜直市場」での直売も開始した。また、水産加工残渣と間伐材チップを混合固化した施肥の製造等による磯焼け対策の取組や海岸クリーン大作戦等の活動にも取り組んでいる。
旭川	旭川市	優秀賞	北海道旭川農業高等学校 食品科学科 米粉班	米の消費拡大と旭川永山の美しい田園風景を守り続けるため、平成21年から米の消費拡大を目標に米粉の活用法の研究を開始。菓子製造メーカーやコンビニエンスストア等との共同開発によりロールケーキ等を商品開発。また、米粉の利用について広く情報発信している。
旭川	富良野市	優秀賞	ふらの樹海 やさい工房「しずく」運営委員会	農産物直売所の営業活動を通じて地域コミュニティの活性化やそのためのサロンづくりを目指している。過疎化が進む地域において徐々に活動の輪が広がり、地域には無くてはならない場所となっている。秋には地元の中学生在が学校農園で育てたカボチャの販売実習を行ったり、地域のお祭りやイベントを企画・開催し、地域活動の中心となっている。
室蘭	伊達市	優秀賞	観光物産館農産物販売協議会	道の駅伊達歴史の杜「伊達市観光物産館」内の農産物産直コーナーにおいて、市内で生産された農産物(野菜・穀物・果物・花)を販売している。農産物を通じた地域の活性化を目指し、農産物直売所が農産物生産者と消費者の交流の場として定着し、観光拠点の一翼を担い、地域シンボルの中核となっている。伊達野菜の知名度アップと地域振興に大きく貢献している。
釧路	厚岸町	優秀賞	NPO法人 厚岸ネット	食と文化と歴史の町あつけしをテーマに特産物の牡蠣をはじめ、町の全ての産業や観光資源などを広く全国にPRし人の交流を図るため、牡蠣や町の水産業、文化、歴史を問うご当地検定の「牡蠣博士認定試験」を実施するとともに、平成28年度から「酪農博士認定試験」も行っている。
釧路	弟子屈町	優秀賞	有限会社 渡辺体験牧場	放牧主体の酪農業の傍ら平成7年から「こころ」をキーワードに酪農「体験牧場」を経営。その体験者数は修学旅行客等年間約3万人に及んでいる。また、並行して自家生産牛乳の加工販売、JAや地元業者と連携した商品開発・製造を行っており、地域農業や観光の活性化に寄与している。
帯広	帯広市	優秀賞	十勝パンを創る会	平成24年に十勝産小麦の価値を最大限に高めた十勝パンを創造するため管内のパン工房などにより設立。生産者、消費者とも連携し、十勝産小麦100%の十勝パンブランド確立を目指し、十勝パン候補を毎年、開発・販売し、平成29年に成果の発表を予定している。平成32年(2020年東京オリンピック)には首都圏で十勝パンを販売し、内外にアピールすることを目指している。
帯広	帯広市	優秀賞	(株)アグリファッショングループ	平成27年に農業生産法人として設立。法人の活動主体である「十勝ガールズ農場」(女性農業者3名)を平成28年からスタートし、営農とともに、グリーンツーリズムマップの作成、とかち帯広空港マルシェの運営、地域団体と連携した農村景観の保全などを行っている。

【参考】表彰団体活動概要

掲載はブロック順

ブロック	市町村	選考結果	団体名	活動概要（応募資料から抜粋）
網走	斜里町	優秀賞	株式会社 知床ごんた村	斜里町の農業の良さを知ってもらうため、宿泊型農業体験施設を作り、農作物収穫体験やそれを使ったピザ作り体験を観光客向けに行ったり、地元の小学生を対象に農業体験学習（食育授業）を行うなどしている。
留萌	留萌市	優秀賞	留萌市食農教育推進協議会	留萌市内の小学生を対象とした田植え体験、稲刈り体験、農村絵画コンテスト等の食農教育活動を通じて、留萌市における農村地域の活性化と、子供たちに対する体験学習を推進している。
稚内	枝幸町	優秀賞	うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会	会の発足以来40回のウォーキングの集いを開催し、延べ1,000人以上の参加を頂いている。ウォーキングは単なるレクリエーションではなく、森林を育てる・活用する・利用するなかでの、利用する一環で行っている。
札幌	長沼町	奨励賞	河川愛護団体 リバーネット21ながめま	水害の多い長沼町で、地域の木から採種した苗を河畔に植樹することで水害を防ぎ、農作物を守るとともに、馬追運河のゴミ拾いを行い、地域の田園景観を守る活動を行っている。
札幌	岩見沢市・美唄市	奨励賞	「いきいき母さん土曜日」運営委員会	「空知中央いきいき女性ネットワーク」の会員が作った農産加工品や野菜を直接PRし、販売することで広く消費者に知ってもらい農業に対する理解を深めてもらう取組。冬期間の月1回「いきいき母さん土曜日」を岩見沢市で開催している。
札幌	恵庭市・北広島市・千歳市	奨励賞	ルーキーズカンパニー	恵庭、千歳、北広島の若手農業者のグループ。年5～6回の勉強会の他、会員の畑や水田で小学生に収穫体験をしてもらう「食の体験ランド」を恵庭市教委、道文教大と共催。また、道文教大が行っている食育講座に食材を提供するなど協力している。
函館	七飯町	奨励賞	アグリネットななえ	平成17年度から「ななえで遊ぼう！農業体験会」を毎年開催しており、その他にも年間を通じてさまざまな農業体験会を行っている。また、りんごの木をレンタル（オーナー制）し、花摘みから収穫までの体験を行っている。農業者のアドバイスを受けながら借上げた圃場で参加者自らが、播種から収穫を行うことで、七飯町の農業や農産物を身近に感じ理解を深める活動を行っている。
函館	北斗市	奨励賞	赤とんぼの町プロジェクト	市内の保育園、小学生、中学生を対象に母親目線で農業体験の実施、野菜栽培の講習会、自ら収穫した野菜の試食体験、野菜料理やその栄養に関する講習会、畑を利用したアートなどを企画している。このような活動に参加してもらうことで、農業を身近に感じてもらい、また、地産地消や食の安全安心にも興味を持つことで、次世代の農業従事者の育成と地域農業を支える人づくりやまちづくりに繋がりたいと考えている。
小樽	ニセコ町	奨励賞	ニセコ町農業青年会	幼児と保護者を対象に管理している圃場で「にんじん」等の収穫体験を実施。また、圃場で収穫した農作物はニセコ町内や札幌市で直売している。ニセコ町の新たな作物導入を目指し、平成25年より「サツマイモ」の試験栽培を始める。平成27年には小樽の田中酒造（株）の協力により、「芋焼酎」を生産し販売（数量限定）を始める。
小樽	余市町	奨励賞	北海道余市紅志高等学校農業クラブ	余市駅前ロータリーの植栽を中心に町内公共施設の植栽・装飾を実施。「町民開放講座」は4回目を迎え、ハンギングバスケット寄せ植え講座、パウンドケーキ・ジャム製造体験講座、秋野菜栽培・漬物体験講座など、高校生が講師になって実施（平成27年度は累計100名の町民が受講）。「出前講座」として、町内味覚の祭典を始め、小樽クルーズウエルカムフェスティバル、小樽共育フェスティバル、農業高校食彩フェアinアリオ札幌に参加し、地域資源をPR。昨年は後志収穫祭にも初めて参加し、ジャムや秋野菜、ブルーベリーなどを販売。北海道一のフルーツ王国の公立高校として、農業を土台とした地域づくりに貢献している。

【参考】表彰団体活動概要

掲載はブロック順

ブロック	市町村	選考結果	団体名	活動概要（応募資料から抜粋）
旭川	音威子府村	奨励賞	株式会社 村にあるものをねっぶえいど	地域で生産される音威子府村「そば」の加工販売や農業者同士の交流にも力を入れている。村内外の交流と発展を目指して農業の6次産業化を積極的に取り組んでいる。
旭川	和寒町	奨励賞	北のきらきらキッズプロジェクト	小中学生の父兄を中心とし様々な職種で構成された運営メンバーにより、農業施設の見学、田んぼの生き物調査、農作業や炭焼き体験など総合的体験学習を実施することで地域活性化を目指している。
旭川	士別市	奨励賞	北海道士別翔雲高等学校	実践的な職業教育として、地元企業と協働し地域の特産物である甜菜を使用した「天サイダー」の開発や「サフォークランド士別プロジェクト」の一環として士別青年会議所と地元の菓子店と共同で「うんメ〜トパイ」の開発を行った。また、札幌市内で開催される商業教育フェアでは、開発商品の販売やPRも行っている。このような取組が郷土愛を育み、職業人としての創造性を高め、地域の活性化にも貢献している。
旭川	下川町	奨励賞	北海道下川商業高等学校	知的財産の学習の観点から踏まえた上で、個人の発想と下川町の特色を融合させ、新たな商品を創造する活動を重点的に行っている。実習学習として、地元産100%の小麦「ハルユタカ」の使用にこだわったオリジナル「うどん」や地域特産物のトマトジュースに着目した創作うどん「トマトうどん」の商品開発などを行っている。また、平成元年より札幌市で「販売実習会」を行い、下川町のPRと販売活動をしている。このような取組を将来につなげていくため、小学生や中学生を対象とした「うどん教室」を主催している。
旭川	比布町	奨励賞	比布商工会青年部	「お米の町・比布町」のイメージづくりやまちおこしを目指して、地域特産物である比布米と卵と千本ネギ(醤油)を「たまごかけごはんセット(びっぶTKGセット)」として販売。千本ネギ醤油は新たに商品開発したものであり、びっぶTKGセットの販路拡大を積極的に進めることで地域の活性化に努めている。
室蘭	厚真町	奨励賞	JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会	厚真町ハスカップの販売振興及び産地をPRなどするため、対面販売・各種イベント・物産展への出展を実施していると共に冷凍ハスカップの賞味期限標記調査を実施している。
室蘭	平取町	奨励賞	びらとり農業協同組合青年部	農作物のPR販売はもとより、農作物の生産技術向上や将来の経営者としての知識を深めることを目的とした視察研修青年部員交流会、スポーツ大会、子ども農作業体験等を実施し、近隣の単組とも交流を深める活動を行っている。
帯広	帯広市	奨励賞	北海道帯広農業高等学校(農産加工分会ビネガー班)	これまで廃棄されていた大豆の茎や葉には、食品機能性を持つ「ピニトール」という成分が含まれている。このピニトールを含む新たな食品を、食品企業や地元団体と連携して地域特産物として開発することを目指している。
帯広	帯広市	奨励賞	十勝品質事業協同組合	十勝管内の生産者(8つのチーズ工房)等が平成27年に設立。十勝で生まれた伝統的なナチュラルチーズをブランド化するため、地理的表示(GI)登録申請や共同熟成庫の整備などを行い、国内外への販路拡大による地域への利益還元を目指している。
帯広	士幌町	奨励賞	北海道士幌高等学校(環境専攻班)	士幌町のカンワ林は学術的に貴重とされていることから、その保全活動に取り組んでいる。また、植生図の作成や群落組成調査を基にカンワ林の保全対策を研究しており、研究結果の学会発表を目標としている。

【参考】表彰団体活動概要

掲載はブロック順

ブロック	市町村	選考結果	団体名	活動概要（応募資料から抜粋）
帯広	士幌町	奨励賞	農と暮らしの委員会	女性農業者を中心に、生産者、飲食業者など28名で構成。「十勝農女子マルシェ」の開催を中心として、農産物販路拡大につながる直販、イベントなどを手がけている。
網走	北見市	奨励賞	るべし白花豆くらぶ	生産量(収穫量)日本一の白花豆のPRと消費拡大及びび活用促進、並びに地域の活性化を目的として、白花豆を使った料理レシピ、スイーツの開発普及、料理講習会の開催などのほか、白花豆の美しい景観を伝えるためグリーンアーチを設置するなどの取り組みを行っている。
網走	北見市	奨励賞	上ところホテル友の会	上ところホテルの里を作り、ホテルを育て、農村地域と人、そして自然とが共存できるよう、水路及び池周辺の環境整備やホテルと幼虫のエサ(モノアラガイ、タニシ等)の増殖事業を行うとともに、ホテル鑑賞会、ホテルまつり自然観察会、地場農産品販売宣伝等による交流活動等を行っている。
留萌	遠別町	奨励賞	NPO法人えんべつ地域おこし協力隊	稲作地の北限である遠別町で、地元の農業高校と連携して農産物や水産物などの町内特産品をイベント等で販売したり、販路拡大、新商品の開発など地場産業の振興に取り組むほか、様々な活動で地域の発展に寄与している。
留萌	天塩町	奨励賞	民安ダム「サクラの森づくり」の会	国営かんがい排水事業「天塩沿岸地区」で建設した民安ダムのダム湖周辺に桜を植樹し、地元中学校の学習の場としても活用している。森林の持つ重要性和水の大切さを教え、「サクラの森づくり」を次世代に引き継ぎ、町民の憩いの場として末永く親しめるよう取り組んでいる。
留萌	天塩町	奨励賞	天塩町4Hクラブ	若手農業家を中心に「新しい農業」を目指し、自ら生産した乳製品や地元の食材を使ったピザで酪農の魅力をPRするなど、地域の活性化や就農者増に取り組んでいる。また、地元小学生を招いた牧場作業体験や除草など、地域の交流、景観形成の活動も行っている。
稚内	浜頓別町	奨励賞	とよかんべつ交流大学	地域の全世帯が会員となっており、町内外の人達と交流し地域を活性化させている。主な活動は、ひな祭り、クリスマス交流会、100キロマラソンランナーとの交流などを通して、酪農に関心を持っていただくことも期待している。
稚内	幌延町	奨励賞	フラベンチャー同寒クラブ	毎年4回(自然観察会、カヌー体験教室、親子釣り大会、スノーモービル体験)の活動を行っており、これらは日常の学校教育活動では味わえないような体験や夢と冒険、遊びの要素を満喫できる内容としている。
稚内	豊富町	奨励賞	豊富温泉コンシェルジュ・デスク	コンシェルジュ・デスクは豊富温泉の総合案内所として、湯治の相談を始め宿泊施設の案内などを行っており、湯治客の憩いと交流の場として、地元からの協力のもとで様々なイベントを企画している。